北九州工業高等専門学校		開講年度	平成31年度(2019年度)	授	業科目	歴史				
科目基礎情報	科目基礎情報										
科目番号	0025	0025 科目区分									
授業形態	授業		単位の種別と単位	単位の種別と単位数 履修単位: 2		2					
開設学科	生産デザイン	工学科(共通科	 目)	対象学年		2					
開設期	通年			週時間数		2					
教科書/教材	『明解 世界	史A』(帝国書	院、2016年)、	『最新世界史図説 タ	アペス	トリー 十	七訂版』	(帝国書院、	2019年)。	э .	
担当教員	大熊 智之	·	·	·							

到達目標

- 1.近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。 2.帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。 3.第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。 4.19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要をおおむね理解している。	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程についての理解が十分でない。
評価項目2	帝国主義諸国の抗争を経て二つの 世界大戦に至る日本を含む世界の 動向の概要を説明し、平和の意義 について考察できる。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの 世界大戦に至る日本を含む世界の 動向の概要についておおむね理解 している。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの 世界大戦に至る日本を含む世界の 動向についての理解が十分でない 。
評価項目3	19世紀後期以降の日本とアジア近 隣諸国との関係について、その概 要を説明できる。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、おおむね理解している。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係についての理解が十分でない。

学科の到達目標項目との関係

- 学習・教育到達度目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。 学習・教育到達度目標 F① 歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。 学習・教育到達度目標 F② 工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。 準学士課程の教育目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。 準学士課程の教育目標 F① 歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。 準学士課程の教育目標 F② 工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。

教育方法等

概要	皆さんはこれからさまざまな形で社会とかかわっていくことになります。その際には、目分目身が歴史のなかに生きているという感覚を持つことが大切です。歴史を学ぶことで、現代社会が、そして自分自身の行動や考えがいかに歴史的な条件に規定されているかを実感してください。同時に、過去の人びとが、その人の生きた時代的な条件とどのように向き合い、それと格闘してきたのか、その経験に寄り添い、学んでほしいと思います。そうすることで、自分自身の日々の営みが社会を変え、歴史を作りうるという感覚を持って、主体的に社会に参画することができると思うからです。
授業の進め方・方法	・教科書・ノート・図説を毎回準備すること。 ・本講義と関連する時事の話題を適宜紹介する。
注意点	・ノートには板書されたことだけでなく、それ以外の講義内容を聴き取ってできるだけメモすること。 ・必要に応じてプリントを配布するのでなくさないようにすること。 ・課題の提示など授業にかんする連絡は基本的にblackboardを通して行うので随時確認すること。 ・現代の日本や世界の動きに対して常に関心を持って授業に参加されたい。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
		1週	オリエンテーション	
		2週	大航海時代と新たな国家の形成(1)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
		3週	大航海時代と新たな国家の形成(2)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
	1ctO	4週	大航海時代と新たな国家の形成(3)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
	1stQ	5週	ヨーロッパとアメリカの諸革命(1)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
前期		6週	ヨーロッパとアメリカの諸革命(2)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
		7週	ヨーロッパとアメリカの諸革命(3)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
		8週	中間試験	
		9週	自由主義・ナショナリズムの進展(1)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
	2ndQ	10週	自由主義・ナショナリズムの進展(2)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。
	11週	アジア諸国の動揺(1)	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	

13回 東アジアの大変動 (1) 19世紀時期以降の日本とアジア対域知道との関係について、その課意を関する。			12ì	周	アジフ	ア諸国の動揺	(2)	近代化を遂げた欧米諸国が、 本を含む世界を一体化してい 要を説明できる。	19世紀に至る く過程につい	るまでに、日 て、その概		
15/2			13近		東アシ	ジアの大変動	(1)	19世紀後期以降の日本とアシ		この関係につ		
16回 京藤南京 京藤南京 京藤市文 元春市文 元春市 元春市文 元春市 元春市 元春市文 元春市 元春市本 元春市			14ì	周	東アシ	ジアの大変動	(2)	19世紀後期以降の日本とアシいて、その概要を説明できる	ジア近隣諸国と	この関係につ		
### 2012 現在につながる社会の形成(1) 会合では呼の動かの動きを認明し、平和の意気について、			15ì	固	期末詞	式験						
### 193 現在につながら社会の形成(1) 安全が世界の動向の概要を起呼し、平和の意義についています。 現在につながら社会の形成(2)			16ì	周	試験角	解説						
### 2년 規在につながる社会の形成(2)			1週		現在は	こつながる社会	会の形成(1)	を含む世界の動向の概要を説 て考察できる。	朗し、平和の	意義につい		
### 2019 現在につながる社会の形成(3) を含き世界の動向の観客を説明し、平和の高葉について完美できる。 1910			2週		現在は	こつながる社会	会の形成(2)	を含む世界の動向の概要を説				
### 2012年の大戦がもたらしたもの(1) を含む世界の動物の個数を説明し、平和の最低について発育できる。 2012年の大戦がもたらしたもの(2)			3週		現在は	こつながる社会	会の形成(3)	を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義につい				
		3rdQ	4週		第一次	欠世界大戦がも	5たらしたもの(1)	を含む世界の動向の概要を説				
接続			5週		第一次	欠世界大戦がも	5たらしたもの(2)	を含む世界の動向の概要を説	つの世界大戦 明し、平和の	に至る日本 意義につい		
後期			6週		"民族	自決"を求めて	[(1)			この関係につ		
後期			7週		"民族	自決"を求めて	(2)	19世紀後期以降の日本とアジャス、その概要を説明できる	ジア近隣諸国と	この関係につ		
9週 経済危機から第二次世界大戦へ(1) を設立世界の動向の観撃を説明し、平和の意義について著作できる。 10週 経済危機から第二次世界大戦へ(2) 帯田主義諸国の前争を経て二つの世界大戦に至る日本をおけ、中和の意義について著作できる。 11週 冷たい戦争の時代(1) 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本をおけ、中和の意義について、名称できる。 11週 冷たい戦争の時代(1) 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を合む世界の動向の概要を説明し、そこで生した諸 間感を歴史的に考解できる。 11週 冷電機等体の道のり(1) 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生した諸 同趣を歴史的に考察できる。 13週 冷戦終結への道のり(1) 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生した諸 同趣を歴史的に考察できる。 15週 定期試験 15週 定期試験 15週 定期試験 15週 定期試験 15週 定期試験 16週 加険解答 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	/// HE		8週		中間語	 式験						
10週 経済危機から第二次世界大戦へ(2)	後期		9週		経済危	危機から第二次	欠世界大戦へ(1)	を含む世界の動向の概要を説				
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			10週		経済危機から第二次世界大戦へ(2)			帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本 を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義につい				
### 4th Q		4thQ	11ì			ハ戦争の時代	(1)	本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸				
13週 冷戦終結への道のり(1) 本を含む世界の動向の個要を説明し、そこで生じた諸 問題を歴史的に考察できる。 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の優要を説明し、そこで生じた諸 15週 定期試験 15週 広験解説 京期試験 京期試験 京期試験 京期試験 京期試験 京期試験 京期試験 京期試験 京期式験 京期式験 京期式 京期式			12ì			小戦争の時代	(2)	本を含む世界の動向の概要を				
14週 冷戦終結への道のり(2) 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。 15週 定期試験 16週 試験解説 大文・社会 大孩・音楽学 大文・社会 大孩・音楽学 大家・音楽学 大家・音楽学			13ì	.3週 冷戦約		戦終結への道のり(1)		本を含む世界の動向の概要を	開からその終 説明し、そこ	結に至る日 で生じた諸		
16週 試験解説			14)		冷戦終結への道の「) (2)	本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた				
			15ì	周								
分野 学習内容 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週 近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む 世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。 3 で割す 1 1 1 1 1 1 1 1 1				_	B- 0.35 (7.5							
		アカリキ	-그 ⁻		学習		目標		T	T		
世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。 **	分類	1		分野		学習内容			到達レベル	授業週		
大文・社会 社会 地理歴史的 地理歴史的 地理歴史的 大文・社会 大学 地理歴史的 地理歴史的 ・							世界を一体化していく過程について	、その概要を説明できる。	3			
大学 社会 地理歴史的			人文・社会 科学 社会								3	
19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、る。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、る。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、。 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、。 3 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、。 3 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、。 3 19世紀後期の財産、法術者の関于きる。 2 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について。 3 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、		人文・社 科学 					第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む 界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察		3			
基礎的能力 技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史 できる。							19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、そ		3			
基礎的能力 技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史 できる。									3			
(知的財産、												
持続可能性 を含む)およ び技術史	基礎的能力		(知的!		5倫理 財産、	技術者倫理 (知的財産、	全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発? 実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを記明できる。		3			
科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任を説明できる。		丁学基礎	法令 持続 を含む	法令順 持続可 を含む	引能性 : ひ)およ	持続可能性 を含む)およ	技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然 資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでい		3			
した姿を通し、技術者の使命・重要性について説明できる。 グローバリ グローバリ ゼーション ゼーション ・異文化多 ・異文化多 文化理解 文化理解 文化理解 フト語 ト 世帯 アウル 同語の文章 を きょう ころの 中窓 を 世界できる。 3 3 4 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		上子基 啶		:啶 び技術		び技術史	科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任		3			
ゼーション・異文化多・異文化多文化理解 では、大田内は他の関係を使用している。 では、大田内は他の関係を使用している。 3 分野横断的 い田内は他の関係を使用している。 第四人は他の関係を使用している。 2								3				
分野横断的「辺田的は鉄」辺田的は鉄「口木西上陸字の外国語の立音を誇え、その中窓を押握できる。			ゼー・異		ョン化多	ゼーション・異文化多			3			
	分野横断的 能力	汎用的技	能				日本語と特定の外国語の文章を読み	、その内容を把握できる。	3			

				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。			3		
				他者が話す日本語や	————————————————————————————————————				
	能麻 土色	能麻土		自身の将来のありた	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。				
	態度・志向 性(人間力)	態度・志 性	句 態度・志向 性 	その時々で自らの野くために現状で必要	見状を認識し、将来のありたい姿に向 要な学習や活動を考えることができる	3			
評価割合	評価割合								
			試験	課題	合計				
総合評価割合 60			60		40 100				
基礎的能力 60			60	·	40	100			
0		0		0	0				